

今年も仔熊がお出迎え

●マタギの里熊牧場がオープン



▲かわいらしい仔熊に触れる「仔熊のふれあいコーナー」

阿仁地区のマタギの里熊牧場が、大型連休初日の4月29日に開園し、今年も仔熊が来場者を出迎え、家族連れなどで賑わいました。

マタギの里熊牧場は、日本でもめずらしいツキノワグマの公園で、81頭の熊が猿山ならぬ熊山で暮らしています。今年もツキノワグマの仔熊を近くで見、触れて、楽しんでもらおうと開園イベントとして「仔熊のふれあいコーナー」が熊牧場内に設けられました。

今年は同園での仔熊の誕生がなかったため岩手県からきた体長約50センチ、体重が2キロのオスで推定3ヶ月の小さな黒い丸い目のかわいらしい1頭が開園を楽しみに訪れた家族連れなどを迎え、楽しませてくれました。

木製のカップなどを寄贈

●秋田北鷹高校の開校記念として



▲志渡さんが佐藤校長に秋田杉で作ったカップや賞状などを寄贈

県立秋田北鷹高等学校（佐藤英樹校長・生徒数793人）の開校を記念し、志渡敏昭さん（阿仁幸屋渡）が4月19日、同校を訪れ、生徒たちに木のぬくもりと大切さを知ってもらおうと木製カップ3個、木製の賞状1個、靴べらセット3個を寄贈しました。

志渡さんは、趣味により北秋田市の材料を使って作った木製のカップなどを鹿角国体や100キロチャレンジマラソン大会など各種大会に寄贈し、受賞者などからたいへん喜ばれています。

佐藤校長は「生徒たちが活躍したとき、いろんな場面で協力していた、だけというだけで、スポーツや進学面でがんばりを引き出すための手立てになればと思います」などとお礼を述べました。

雅楽演奏で鎮魂し復興に祈り

●東日本大震災「鎮魂・復興」祈りの集い



▲龍笛や楽太鼓などで雅楽演奏をして祈りを捧げる北秋雅楽会のみなさん

東日本大震災「鎮魂・復興」祈りの集いが5月21日、県立北欧の杜公園で行われ、雅楽演奏で祈りを捧げ、子どもたちが空手道の演武を奉納しました。

この集いは、お野立所ボランティアの会（中嶋修三会長）が主催し、北秋雅楽会（長岡博司会長）と武道修練道場北士館（七尾宗専館長）が協賛。東日本大震災や福島原発の事故の影響などで、福島県から北秋田市内に避難している方々を招待し、6家族21人が参加。合わせて約80人が祈りを捧げました。

会場は、鳳笙、ひちりき、龍笛、楽太鼓、鉦鼓、羯鼓などの合奏で優雅で繊細な雅楽が鳴り響きました。また、空手道の演武では、道場生の子どもたちが突き技や蹴り技を元氣よく披露しました。

来年の収穫が楽しみ

●きのこのこの植菌体験授業



▲指導を受けながらナラの木に菌を植え付ける児童のみなさん

きのこのこの植菌体験授業が4月26日、米内沢字滝ノ沢地内で行われ、米内沢小学校（伊藤康栄校長・児童158人）の4年生30人が、きのこの植菌を体験しました。

体験授業は、森林や林業の持つ魅力や役割を伝えていこうと森吉林業研究会（武石篤正会長）が主催し、ボランティアとして米内沢老人クラブ（鈴木繁美会長）が指導にあたりました。

開会では、武石会長が「収穫は来年の秋から春にかけて。採ったキノコは皆さんの給食に使ってもらうことになっていますので、楽しみにしていてください」などとあいさつし、児童たちは1本に約30個の穴が開けられたナラの木60本に、椎茸の菌を植え付けました。

広い牧場でモリモリ食べて

●市営鷹巣放牧場の入牧式



▲広い牧場に放たれ、さっそく草をはむ牛たち

市営鷹巣放牧場の入牧式と安全祈願祭が5月11日、栄字堤沢地内の同牧場で行われ、利用組合員や関係者など約30人が出席して牧場の安全と牛の成長を願いました。

鷹巣牧場は総面積が87ヘクタール、うち草地部分が約24ヘクタールの林間放牧場で、牧区が6つに仕切られ、牛を効率よく管理することができます。

この日、放牧されたのは赤牛（褐毛和種）2頭と黒牛（黒毛和種）26頭の成牛28頭、子牛7頭（すべて黒牛）の合わせて31頭。夏は緩やかな傾斜の山地に放たれて草をはみ、冬は里で舎飼いされる「夏山冬里」の飼育方式は、牛の健康と肉質の向上、農家の省力化に適した繁殖経営方式といわれています。

今年もウォーキングで健康増進

●さくらウォーク



▲開花が待ち遠しい中央公園で「さくらウォーク」が開催

今年の北秋田市民ウォークの初回「さくらウォーク」が4月28日、鷹巣中央公園で行われ、市民ら約160人が参加して健康の維持と増進に努めました。

ウォーキングは、歩く距離や歩数、時間などを計り運動量や消費カロリーを管理することにより健康の維持や増進につながります。近年健康に対する関心が高まるなか、生活習慣病などの予防や対策のための手軽な運動としてウォーキングは推奨されています。

この日は、朝から小雨まじりのあいにくの天気となりましたが、参加者は自身の体力に合わせて2キロコースと4キロコースに分かれ、もうすぐ開花がはじまる桜並木沿いを軽快なウォーキングで気持ちのいい汗を流しました。